## 教育機関における外国人留学生を対象とした就職支援事業の導入方法



一般社団法人留学生支援ネットワーク
久保田 学
kubota＠issn．or．jp

一般社団法人留学生支援ネットワーク
［設立趣旨】
近年，経済や企業活動のグローバル化に伴い，先進諸国だけではなく新興国を含めた競争が激化してきています。その ため，各国では優秀な人材の獲得競争が始まっており，我が国においても，企業の国際展開を担う留学生の招聘•活用 や日本人学生のグローバル対応力の育成が急務となっております。
このような背景を踏まえ，平成19年から平成24年度まで経済産業省•文部科学省は優秀な留学生の招聘から日本企業で活躍するための教育•就職支援を行う「アジア人財資金構想」事業を実施してきました。
この度「アジア人財資金構想」で培ったノウハウ・知見を基に，優秀な留学生の招聘•育成•支援を行う教育機関及 び，海外ビジネス展開を行う日本•日系企業の支援を行うために「一般社団法人 留学生支援ネットワーク」を設立し ました。
（目標）

- 優秀な留学生を招聘するための広報体制を確立し日本留学ブームを構築
- 留学生が渡日から帰国まで安全•安心な日本留学を送るための支援体制の構築
- 日本企業のグローバル人材採用•活用を活性化

【事業内容】

- 外国人留学生就職支援ネットワーク運営事業
- 外国人留学生OB•OGネットワーク構築事業
- 日本留学魅力発信事業
- 企業•教育機関向け集合型研修事業
- 留学生支援団体ネットワーク構築事業

```
[主催団体の概要]
名称 : 一般社団法人留学生支援ネットワーク (International Students Support Network)
設立日: 2013年10月2日
代表者:代表理事 モンテ•カセム
(学校法人立命館立命館大学•立命館アジア太平洋大学名誉教授)
所在地: 〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-2-22 千代田ビル2階
URL : http:/ / www.issn.or.jp
```


## 留学生就職支援ネットワーク

■ 大学における留学生支援のサポートを行う目的で運営することにより，全国の大学が本ネットワークに加入し留学生支援のツールを共有する，大学をネットワーク化した就職支援システムで現在，国公立大学を中心と した100大学が加盟している。
■ 教育的支援のコンテンツについては，就職活動の方法・ノウハウ，ビジネスマナー，ビジネス日本語教育等の e－learning教材を提供してる。
■ 留学生向け求人情報において，業界初（大学の求人情報含む）となる留学生の採用数や採用実績等の情報を含めた留学生に特化した求人情報の提供を行っている。
－内閣府が中心となり関係省庁•団体連携の下実施する，「外国人材活躍推進プログラム」に選定されている。


## 留学生就職支援の講演とツール

■ 大学内で行う留学生向け就職ガイダンスや学内職員向け留学生就職支援勉強会，その他教育機関向セミナー企業向けセミナー等の講師派遣を実施
－留学生に特化した就職活動ウハウ，ビジネスマナー，ビジネス日本語教育等の教材を作成•提供
■ 大学や自治体における留学生就職支援事業などの効果的なプログラム構築や支援体制の構築等コンサルティング を実施

## 【セミナー等講演実䋶】

- 就職支援ガイダンス
- 橋大学，筑波大学，広島大学

群馬大学，徳島大学，首都大学東京上智大学，立教大学，青山学院大学早稲田大学，国士館大学，亜細亜大学岐阜県，東京都等多数

■企業向け採用•活用セミナー


経済産業省，近畿経済産業局，日本経済新聞社北陸経済連合会，日本貿易振興機構（JETRO）東京都，群馬県，広島県，岐阜県，福井県
広島銀行，西京銀行等
■教育機関向け留学生就職支援セミナー
経済産業省（アジア人財資金構想事業）
中小企業庁（地域中小企業の海外人材確保•定着支援事業）
文部科学省（全国キャリアガイダンス）
東京都（中小企業と留学生の交流事業）
国立，私立大学，大学コンソーシアムにおける学内勉強会等多数

【支援ツール制作実績】


留学生のための就職活動HANDBOOK サイズ：B5 64P
言語：日本語（ルビつき）
発行部数：1万部／年

留学生のためのビジネス日本語HANDBOOK サイズ：B5 72P
言語：日本語（ルビつき）
発行部数：1万部／年

留学生のための自己分析•企業研究
WORKBOOK
サイズ：A4 72P
言語：日本語（ルビつき）
発行部数：1万部／年

留学生のための就職内定ワークブック
サイズ：A4 164P
言語：日本語（ルビつき）
発行元：日本能率協会マネージメントセンター

## 教育機関向けセミナー\＆留学生採用企業との交流会

近年，日本の教育機関に在籍する外国人留学生は約26万人まで増加したが，一方で卒業後のキャリアとして日本での就職を希望 しながら日本の雇用慣行の理解不足や，企業が求める日本語能力に満たない等の理由から就職率は30\％程度に留まり，教育機関に おける外国人留学生の就職支援の在り方が課題となっている。
本セミナーでは，外国人留学生が在籍する教育機関向けに外国人留学生の就職活動の現状と教育機関向けに求められる支援の方策 を中心とした講演と，留学生就職支援を行う教育機関の取り組み事例の共有を行うとともに，セミナー終了後に外国人留学生の採用意欲のある企業採用担当者と教育機関の交流会（名刺交換会）を行うことにより，教育機関における外国人留学生支援及び海外人材を求める企業への一助になることを目的に開催する。

## 【セミナー概要】

イベント：教育機関における留学生就職支援関係教職員向けセミナー
日 時：平成30年6月28日（木）13：00～17：00（12：30受付開始）
場 所：日本貿易振興機構（ジェトロ）本部 5階 A•B会議室 （東京都港区赤坂1丁目12－32アーク森ビル 5階） https：／／www．jetro．go．jp／jetro／profile／map．html

主 催：主催：関東経済産業局，（一社）留学生支援ネットワーク日本貿易振興機構（ジェトロ）（予定）

参加対象：大学•短期大学•高等専門学校•専修学校，
日本語学校における教員，留学生関係部署職員，
就職関係部署職員，幹部事務職員，日本語教師等
定 員：100名（申込み先着順）
※各校最大 2 名までとさせていただきます
費 用：無料
申込方法：下記URLから事前申し込みが必要
https：／／issn．or．jp／information／2018／0518．html

## 【ブログラム内容】

第一部 教育機関向けセミナー（13：00～16：00）
1．開催の挨拶
関東経済産業局 地域経済部長 三浦 裕幸
2．教育機関に求められる外国人留学生の就職支援の在り方
一般社団法人留学生支援ネットワーク 事務局長 久保田 学
3．事例共有（1）「留学生就活塾開設による連続式の支援」
神奈川大学 就職支援部就職課 飯塚 美雪氏
4．事例共有（2）「留学生教育事業と就職支援事業の連携」
創価大学 キャリアセンター キャリア・就職支援課
副課長 賀佐見達雄氏
5．事例共有（3）※タイトルはホームページ上で後日公開します
外語ビジネス専門学校 ビジネス日本語学科
キャリアコンサルタント 沖 英子氏
6．今後の留学生就職支援イベントと支援ツールの紹介
第二部 教育機関と企業の交流会（16：00～17：00）
海外展開をめざす中小企業等と教育機関の交流会（名刺交換会）


## 1－1．留学生の就職事情

## ■留学生の日本での就職状況について

■ 2016年度の外国人留学生の日本での就職者数は約1万4千人。過去最高となった。
■ 大学•専修学校等の卒業者の内，約3割が日本で就職している
■ 就職率は，漢字圏（中国，韓国，台湾）は非漢字圏にくらべ10\％高い

## ■就職先の傾向

－中堅•中小企業への就職が約6割。その内従業員100名以下の中小企業への就職は約5割
■ 出身地別構成比では中国は約6割，ここ数年は特に東南アジアのニーズが高まっている
■ 業種については非製造業が約8割と多く，（1）商業•貿易，（2）コンピコーター関連サービス，（3）飲食業の順に多い
（図1）留学生の卒業者数•就業者数
（図2）従業員数別許可人員の構成比



## － <br> 1－2．教育機関における留学生就職支援取り組み状況

## ■教育機関における取組状況

■ 大学が行っている留学生の就職促進の取り組みとして「留学生向け就職説明会の実施」の実施率は37．6 \％
■ ビジネス日本語講座，留学生向け対策講座，留学生向け企業説明会，専用窓口の設置の実施率は2割以下
■ 支援を実施できない理由は「日本人学生向けの取り組みと併用できる」「必要性を感じない」が上位を占める

【図3】留学生の就職促進に向けた取り組み（大学）


■厚生労働省 平成25年度「大学における留学生の就職支援の取り組みに関する調査」

【図4】留学生の就職促進に向けた取り組みが実施できない理由（大学）

| 留学生就職促進に向け た取り組み | N | 1位 |  | 実施できない理由2位 |  | 3位 |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 専用就職窓口の設置 | 360 | 日本人学生向けの取り組みと併用で きる | 72.2 | 必要性を感じな | 10.0 | 専門的な人村がい ない | 9.4 |
| 留学生就職説明会の実 施 | 271 | 日本人学生向けの取り組みと併用で きる | 74.5 | 必要性を感じな | 13.7 | 専門的な人材がい ない／予算や人員 が確保できない | 5.2 |
| 留学生向け企業説明会 の実施 | 386 | 日本人学生向けの取り組みと併用で きる | 70.7 | 必要性を感じな | 12.2 | 協力いただける企業が見つからない，少ない | 9.8 |
| 留学生向け対策講座の開催 | 379 | 日本人学生向けの取り組みと併用で きる | 76.8 | 必要性を感じな | 11.1 | 予算や人員が確保 できない | 7.9 |
| 留学生向けインターン シップの実施 | 347 | $\begin{aligned} & \text { 日本人学生向けの } \\ & \text { 取り組と併用で } \\ & \text { きる } \end{aligned}$ | 70.0 | 必要性を感じな | 11.8 | 予算や人員が確保 できない／協力い ただける企業が見 つからない，少な い | 4.9 |
| ビジネス日本語講座の開催 | 372 | $\begin{aligned} & \text { 日本人学生向けの } \\ & \text { 取り組と併用で } \\ & \text { きをる } \end{aligned}$ | 36.6 | 必要性を感じな | 21.8 | 予算や人員が確保 できない | 16.7 |
| ｜ビジネスマナー等の講 | 332 | 日本人学生向けの取り組みと併用で きる | 71.7 | 必要性を感じな | 12.0 | 予算や人員が確保 できない | 8.7 |
| 留学生センターとの情報交換 | 235 | 必要性を感じない | 25.1 | 予算や人員が確保できない | 6.0 | 専門的な人材がい | 4.7 |

## － <br> 2－1．企業の留学生採用動向

## 企業の留学生採用の現状

■ 2017年度に外国人雇用している企業は45．4\％
■ 2017年度に今後の外国人雇用を検討している企業は15．7\％$\Rightarrow$ 約 $60 \%$ の企業が雇用，若しくは雇用を検討
■ 約8割の企業が全従業員の5\％以下しか外国人材を採用をしていない

## 企業の留学生採用動向

■ 外国人観光客が2，800万人を突破したインバウンドビジネスでの採用拡大（観光•宿泊•小売業）
－内需から外需へ。特に非製造業（サービス業）などが積極的に海外展開
■ 中小企業の海外進出が活発化。特に製造業の中小企業が積極的に海外展開
■ これまでの国内採用から，海外での現地採用 $\Rightarrow$ 本社勤務の採用活動も拡大
（図5】外国人社員の有無（ $n=3,195$ ）



日本貿易振興機構（JETRO）「2015，2017年度日本企業の海外事業展開に関するアンケート調査」

## $\square$ <br> 2－2．企業はなぜ外国人材を雇用するか



## ［採用効果］

採用効果は大きく3つに分類できる。

## 1．対象国の情報の入手•販路拡大

- その国の文化や慣習等の情報を得ることが可能
- 独自のネットワークにより現地の情報の多角的な視点での分析や検討を行うことが可能
－採用した人材の人脈やネットワークを活用することにより海外で のビジネス展開を優位に進めることが可能


## 2．海外との円滑なコミュニケーション

－高い言語能力や商慣習の理解により，海外取引先や現地法人，訪日外国人との円滑なコミュニケーションを行うことが可能

## 3．社内の活性化

－多様な背景•文化を持つ人材を取り込むことにより組織の活性化 が可能
－仕事への姿勢や取り組み方により同年代社員への刺激や管理職へ の指導力の育成が可能
－商品などの多国籍な付加価値の創出が可能

## 2－3．企業の外国人留学生採用ニーズ

## －学籍別の企業ニーズ

■ 企業の採用学生が最も高いのは理系の修士卒。次いで理系の学部卒

- 文系の修士卒は学部卒に比べ 10 ポイント以上企業の採用マインドが低い
- 博士卒は文系•理系共に低い


## ■企業が求める能力

■ 企業が採用時に最も重視するのは，語学力（日本語），次にコミュニケーション能力
■ バイタリティーや熱意を求める企業も比較的多い
■ 大学の成績や出身大学はあまり重要視されない

$$
\text { 【図8】外国人留学生の採用予定学籍 ( } n=80 \text { ) }
$$

$$
\text { 〔図9】外国人留学生の採用時に重視すること }(n=212)
$$




## 2－4．企業の留学生選考基準（日本語力•英語力）

■必要とされる日本語能力

- 8割以上の企業が採用時に「日本語能力試験1級」以上を求める（BJTビジネス日本語能カテストJ2以上）
- 約6割の企業が「BJTビジネス日本語能カテストJ1」以上を求める
- 企業規模が大きい程求める日本語能力が高い

■必要とされる英語能力

- 概ねTOEIC47O点以上の英語能力を求める
- 約4割の企業がTOEIC730点以上の英語能力を求める
- 特に製造業，企業規模の大きな企業において求める英語能力が高い傾向がみられる

〔図10】採用時に求める日本語コミュニケーションレベル







## $\square$ 来回雚



〔図11】採用時に求める英語コミュニケーションレベル







## $\square$ 末回荅



## 3－1．留学生の就職活動における問題点

■留学生の日本での就職活動における問題点
$\square \square$
就職活動に対する理解不足

- ビジネスシーンでの日本語能力の不足
- 留学生向けの求人情報が少ない



## 教育機関における留学生就職支援の責務

Step1 教育機関が行うべき最低限の取り組み

Step2 なぜ多くの留学生は就職活動で失敗するのか

Step3 内定獲得率を向上させるための取り組み

留学生就職支援事業初期導入フロー

4－2．教育機関における留学生支援の責務


## 4－3．教育機関が行うべき最低限の取り組み

## 【入学ガイダンス】

- 留学生を受け入れたのであれば，日本でのキャリア（就職）の最低限の情報を説明する義務がある
- 入学ガイダンスで，（1）日本での就職の現状，（2）スケジュール，③就職するための条件（特に日本語能力）

は必ず情報提供を行う
－特に英語トラックの学生は，入学当初から自主的に日本語教育科目を履修しない限り企業が求める日本語能力 の到達まで望めない

- 英語能力のみで（日本語能力がない）留学生が日本で就職することは難しい
- 入学当初に必要なツール提供は外部から入手（特にJASSOの多言語版の印刷配布は効果的）


## 【個別相談体制の整備】

－留学生対応可能な人材を雇用するのではなく，日本人対応者に必要な情報を提供し整備する


就活ガイドブック

```
キャリアカウンセラーの
留学生対応
```

独立行政法人日本学生支援機構
（1）留学生の就職活動問題点の把握と企業ニーズの把握
言語：日本語，英語，繁体字，簡体字，韓国語発行部数： 2.5 万部／年（日本語のみ）多言語はwebからダウンロードが必要 （2）在留資格についての理解
（3）異文化理解と出身国毎の特性把握
（4）留学生向けガイダンス・会社説明会•求人情報の
一般社団法人留学生支援ネットワーク
情報収集
一般社団法人留子学生文援ネットリーク
留学生のための就職活動HANDBOOK
curatoon cetentwo

留学生のためのビジネス日本語HANDBOOK
サイズ：B5 64P／72P
言語：日本語（ルビつき）
発行部数：1万部／年

## 4－4．留学生を対象とした就職ガイダンス

## N 【よくある失敗例】

- 対象を留学生に限定した，内容は日本人向けのガイダンス
- 日本人向けのガイダンスに在留資格変更の説明を付け加えただけのガイダンス
- 日本の就職活動の知識•情報だけを一方的に詰め込むガイダンス
- 留学生OB•OGに就職活動の体験談を中心に伝えるガイダンス


## ［就職ガイダンスで伝えるべき内容］

－一番大事なことは，日本の就職活動を説明するだけでなく，文化の違い部分比較しながら説明することと文化の違いの背景「なぜ」を理解させることが重要
ex．）スケジュール（一括採用と通年採用），採用試験，採用基準（ポテンシャル採用），採用方法（就社と就職）
－実際に試験を体験させることで準備の必要性を理解させる

## 【ポイント】

- 日本人学生と比べて初期の知識量の開きは大きいので日本人学生よりレベルを落とした説明が必要
- 知識としての理解（日本の就職活動の方法論）だけでは，その後に直面する様々な問題に対して応用が利かなくなる。
- できるだけデータ等数値の根拠を提示して説明をする
- OB•OGの体験談は個別事例だけが一人歩きしないよう基本のルールを理解させた後に実施することが重要




## 4－6．内定獲得率を向上させるための取り組み

## ［内定獲得を阻害する要因】

（1）企業が求める日本語能力の不足（2）就職活動の準備不足（進路決定及びそのための準備の不足）
$\Rightarrow$ 内定率の向上や対象学生の参加率等の即効性を求めるのであればカリキュラム化を行う事が効果的
具体的には，（1）ビジネス日本語，（2）キャリア教育

## 【キャリア教育】

- キャリア教育は日本雇用慣行を含めて留学生のキャリアを考える上での材料を提供
- 留学生のキャリア教育は，日本人向けのものでは彼らが持っているキャリア感が違うので大きな効果は出ない
- 教育としてカリキュラムで行う支援と支援事業との連携することが重要
- 留学生に高いモチベーションを持たせながら教育を行うためには，教育を行う時期と内容が重要


## 【ビジネス日本語教育】

- 企業は，現在大学で教育している日本語教育より高度な運用能力を求める
- 「待遇表現」＋「ビジネスマナー」のみ行うビジネス日本語はNG

アジア人財資金構想でのビジネス日本語の定義
就職活動から就職後までを視野に入れ，高度な日本語力の習得やビジネス の背景にある文化や考え方の理解とともに，社会人として生きていくため の包括的な能力を育成するもの

13以下
$\begin{array}{lllllllll}52.0 & 54.0 & 56.0 & 58.0 & 60.0 & 62.0 & 64.0 & 66.0 & 68.0\end{array}$
■経済産業省「アジア人財資金構想受講生分析」

## 4－7．留学生を対象したキャリア教育事例（創価大学）

2017年4月より，留学生に限定したキャリア教育，インターンシップ，ピジネス日本語教育を実施した。
単位化された低学年次からの教育と就職支援部署による就職支援事業を連携させ効果的な支援を行う。

| 1－2年生 前期 | 2－3年生 夏季 | 3年生 後期 |
| :---: | :---: | :---: |
| 低学年対象のキャリア教育科目 2単位 | インターンシッブ 1単位 | 就職活動年次対象のキャリア教育科目 2単位 |
| 授業の概要： <br> 外国人留学生が日本で民間企業就職のキャ リアを考えている方を対象に夢を実現する ために必要となる日本の就職活動の理解と必要な準備について学習する。 <br> 毎回受講することで，「なりたい自分」と <br> 「自分を活かせる仕事」を見つけることが できる。 <br> また，日本での就職活動において外国人留学生が最も不足している準備を行うことが できる。 <br> 対象：学部生 1－2年生推奨 | 留学生の日本語能力に合わせたインタ ーンシッッブを実施 <br> （1）日本語能力が N 1 程度 <br> （2）英語（日本語能力がほぼない）事前教育，事後教育，企業での実習は 40時間以上 <br> 対象：学部生 2－3年生 | 授業の概要 ： <br> 外国人留学生が日本で民間企業就職のキャ リアを考えている方を対象に夢を実現する ために必要となる日本の就職活動の理解と試験対策に必要な文章力，コミュニケーシ ヨン能力を充成する。日本の就職活動で外国人留学生が苦労する，エントリーシート （履歴書）や面接対策を中心に行い，自律的に日本での就職活動を行うための知識と ノウハウを習得することができる。 <br> 対象：学部生 3年生 |
| ビジネス日本語科目 前期 2単位 | ビジネス日本語科目 後期 2単位 | 就職支援事業（就職支援部署） |
| 授業の概要： <br> インターンシップを行う上で必要な実践的 な日本語を学ぶ。マンガを題材としてケー ススタディを行い，ピジネス場面での日本語を用いて会話を練習する。 <br> 対象：学部生 1－4年生 | 授業の厤要： <br> 主に就職活動に必要な企業研究及びディス カッションを行う。 <br> 就活マナーを学ぶ。（メールの書き方，電話の仕方，面接） <br> ビシネス日本語能カテスト（BJT）より聴解，聴読解，読解練習を行う。 <br> 対象：学部生 1－4年生 | - 就職支援講座 <br> - 就職活動対策講座 <br> - 個別キャリアカウンセリング <br> 1－2年生推奨 前期 <br> キャリア教育科目（英語）2単位 |



